

平成24年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人金沢大学

平成25年9月

平成24年度 金沢大学の動物実験等の実施状況に関する点検及び評価について

金沢大学では、動物実験委員会において平成24年度の本学における動物実験等の実施状況などについて研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第七十一号。以下「基本指針」という）と適合しているかについて点検・評価を行いました。

その結果、全体的には概ね基本指針に適合していましたが、一部に改善の余地が認められたところです。それらについては具体的な改善の方針を立てた上で、今後もさらなる動物実験の適正化に向けて取り組んでまいります。

なお、点検項目及びその評価、また浮かび上がった主な課題とその改善の方針は以下のとおりです。

【I. 規程及び体制等の整備状況】

1. 学内規程について

基本指針に適合する機関内規程が定められている。

2. 動物実験委員会について

基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。

3. 動物実験の実施体制について

基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用について改善の余地がある。

特に安楽死処置における使用の制限・非爆発性麻酔薬への切替等の啓蒙活動として、ジエチルエーテルに代わる代替処置のマニュアルを作成し、HPにアップする予定である。

5. 実験動物の飼養保管の体制

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

【II. 実施状況】

1. 動物実験委員会について

基本指針に適合し、適正に機能している。

2. 動物実験の実施状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

動物実験計画の申請及び結果の報告について、提出期限の明確化や部局長への督促体制の整備により、体制の強化は図られているが、一部期限を過ぎた書類提出が散見されるため、提出期限超過後は速やかに部局長への督促を行い、そのうえで提出がないもの対しては、実験責任者の申請資格停止について通知することとする。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況について

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用について、特に安楽死処置における使用の制限・非爆発性麻酔薬への切替等の啓蒙活動としてマニュアルを作成し、実験責任者に配布する。実験責任者は次年度の動物実験計画書申請の際、マニュアルを参考にし、申請内容を検討することとする。

4. 実験動物の飼養保管状況について

実験動物の飼養保管は、飼養保管手順書等により適正に実施されている。

5. 施設等の維持管理の状況について

飼養保管施設は適正に維持管理されている。

6. 教育訓練の実施状況

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練は適正に実施されている。

7. 自己点検・評価、情報公開

自己点検・評価、関連事項の情報公開は適正に実施されている。

平成 24 年度 動物実験等に関する状況

1. 動物種別飼養総匹数 (平成 25 年 3 月 31 日時点)

マウス (遺伝子組換え動物内数)	ラット	ウサギ	ブタ	イヌ	モルモット	スナグ	ハムスター	サル	カメ	ダック
41,000 (32,000)	920	98	1	13	12	20	20	3	6	0

マウス・ラットは二桁の概数表示

2. 飼養保管施設・実験室の設置状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

飼養保管施設：15 施設

✓ 全学共用施設

- ・学際科学実験センター 実験動物研究施設 (スナグとカメ以外の動物)
- ・学際科学実験センター 実験動物研究施設角間分室 (マウス)
- ・学際科学実験センター アイソトープ総合研究施設動物室 (マウス・ラット)
- ・学際科学実験センター 遺伝子研究施設感染動物室 (マウス・ラット)

✓ 部局共用施設【括弧内は設置部局等；飼養動物種】

- ・医学系動物室 (医薬保健研究域医学系；マウス・ラット)
- ・薬学系動物飼育室 (医薬保健研究域薬学系；マウス・ラット)
- ・看護科学領域動物飼育室 (医薬保健研究域保健学系看護科学領域；マウス・ラット)
- ・理学療法学動物室 (医薬保健学域保健学類理学療法学専攻；マウス・ラット)

✓ 研究室専用施設【括弧内は飼養動物種】

- ・人間社会研究域人間科学系： 2 施設 (マウス・ラット・カメ)
- ・医薬保健研究域医学系： 3 施設 (マウス・ラット・スナグ・ウサギ)
- ・医薬保健研究域薬学系： 1 施設 (マウス)
- ・環日本海域環境研究センター： 1 施設 (マウス・ラット)

魚類または両生類のみを飼養する飼養保管施設：8 施設【全て研究室専用】

飼養保管施設外実験室：60 室【部局等共用 7 室，研究室専用 53 室】

3. 動物実験計画の申請・審査，届け出状況

申請：380 計画 (346 課題)

- ✓ 承認計画：341 件 (他に修正計画承認による失効 6 件あり)；初年度計画 121 件 (35%)
- ✓ 取り下げ：18 件 (継続計画 1 件／新規計画 17 件)
- ✓ 審査次年度持ち越し：8 件
- ✓ 否認：7 件

届出 7 件 (魚類 5 件，カエル 2 件)

予備審査/委員会によるコメント件数：191 課題 (不備指摘等 261 回，督促等 55 回)

□ 部局別計画件数（承認計画 341 件中）

- ✓ 人間社会研究域：5
- ✓ 理工研究域：3
- ✓ 医薬保健研究域：272（80%）
 医学系：199（58%，基礎系：44/臨床系：155），保健学系：29（9%），薬学系：30（9%）
 脳・肝インターフェースメディスン研究センター：14（4%）
- ✓ がん進展制御研究所：26（8%）
- ✓ 学際科学実験センター：22（6%）
- ✓ 環日本海域環境研究センター：2
- ✓ 子どものこころの発達研究センター：8
- ✓ 保健管理センター：3

□ 動物種別・痛みのカテゴリ別計画件数（承認計画 341 件中）

	マウス	ラット	ウサギ	ブタ	イヌ	モルモット	スズク	サル	カメ	ダック	計
I	19	9	0	1	0	1	1	1	0	1	33
II	75	37	5	5	0	1	1	1	1	0	126
III	90	45	15	5	5	1	0	0	0	0	161
IV	19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	21
計	203 (60%)	93 (27%)	20 (6%)	11 (3%)	5	3	2	2	1	1	341

□ 飼養保管施設別計画件数

- ✓ 学際セ・実験動物研究施設：281（単独：200/併用：81）
 （併用施設）角間分室：21，アイソトープ総合研究施設動物室：26，医学系動物室：22，
 薬学系動物飼育室：15，
 看護科学領域動物飼育室：4，遺伝子研究施設感染動物室：5，
 理学療法学動物室：1，研究室専用施設：3
- ✓ 学際セ・実験動物研究施設角間分室：31（単独：9/併用：22）
- ✓ 学際セ・アイソトープ総合研究施設動物室：27（単独：0/併用：27）
- ✓ 学際セ・遺伝子研究施設感染動物室：7（単独：1/併用：6）
- ✓ 部局共用施設：医学系動物室：31（単独：9/併用：22）
 薬学系動物飼育室：19（単独：4/併用：15）
 看護科学領域動物飼育室：5（単独：1/併用：4）
 理学療法学動物室：16（単独：14/併用：2）

- ✓ 研究室専用施設： 医薬保健研究域医学系：7（単独:2/併用:5）
 医薬保健研究域薬学系：1（単独:1/併用:0）
 人間社会研究域人間科学系：5（単独:5/併用:0）
 環日本海域環境研究センター：3（単独:3/併用:0）
- ✓ 飼養保管施設を使用しない計画：8（医学系 1/保健学系 3/理工研究域 1/がん研 2/子どもセ 1）

4. 動物実験計画の動物種別使用総数

マウス	ラット	ウサギ	ブタ	イヌ	モルモット	スンス	サル	カメ	ダック	計
20,105	3,388	271	69	39	47	36	0	3	0	23,958

5. 飼養保管施設への実験動物導入匹数

- ・国内の生産業者 マウス：21,474, ラット3,715, ウサギ：250, モルモット：51, イヌ：43, ブタ：58, ハムスター：1, アカハライモリ：50
- ・学外の研究機関 マウス：171, ラット：8,
サル：3（特定外来生物飼養等許可第12000108号）
- ・国外研究機関等 マウス：43
- ・自家繁殖にて生産 マウス：33,052, ラット：50, ハムスター：51, スンス：145
- ・その他 マウス：192（受精卵移植）, 4,260（学内他施設からの移動）,
ラット：452（学内他施設からの移動）,
ウシガエル：133（特定外来生物飼養等許可第06000272号）

6. 教育訓練について

- ・講習名称：金沢大学動物実験基礎講習
- ・講習時間：2時間20分
- ・講師：学際科学実験センター・准教授 橋本憲佳/助教 成瀬智恵・神村栄吉
- ・講習内容：動物実験関連法規制解説および動物実験概論 80分, 学内手続・基本作業解説 60分
- ・受講者数：10回開催（春期定例5回, 臨時5回）, 合計312名
 （開催日：2012/4/9, 4/11, 4/13, 4/17, 4/21, 5/22, 7/24, 9/28, 11/28, 2013/1/17）

7. 動物実験委員会委員構成について

動物実験委員会規程区分		所属	専門分野	備考	基本指針区分
1号	人間社会研究域の教員	人間科学系	スポーツ科学, 環境生理学		A
1号	理工研究域の教員	自然システム学系	神経科学一般		A
2号	医薬保健研究域 医学系の教員	(同左)	生理学, 薬理学	委員長	A
2号	医薬保健研究域薬学系の 教員	(同左)	分子生物学, 細胞生物学		A
2号	医薬保健研究域保健学系 の教員	(同左)	解剖学, 看護学		A
3号	がん進展制御研究所 の教員	(同左)	実験病理学, 腫瘍学	獣医師	A
4号	実験動物学を専門 とする教員	学際科学実験セン ター	実験動物学, 獣医学	獣医師	B
5号	微生物学を専門 とする教員	医薬保健研究域医 学系	寄生虫学, 衛生動物学		C
6号	倫理を専門とする教員	大学教育開発・支 援センター	哲学・倫理学, 医事法学		C
7号	法律を専門とする教員	人間社会研究域法 学系	基礎法学, 思想史		C
8号	金沢大学学際科学実験セ ンター実験動物研究施設 長	(同左)	実験動物学, 発生生物学		B
9号	研究推進部研究推進課長	事務局			C
10号	その他学長が必要と 認める教員	医薬保健研究域医 学系	神経科学, 神経薬理学	委員長選出 部局の増員	A
10号	その他学長が必要と 認める教員	学際科学実験セン ター	実験動物学	実験動物 1級技術者	B

基本指針区分： A 動物実験等に関して優れた識見を有する者，
 B 実験動物に関して優れた識見を有する者，
 C その他学識経験を有する者

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢大学動物実験規程・動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則・飼養保管施設ならびに施設外実験室の適正な管理・運用のための留意事項・金沢大学動物実験委員会規程・動物実験委員会申し合わせ事項等
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に準じた学内規程が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針，達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢大学動物実験委員会規程・動物実験委員会申し合わせ事項等・動物実験委員会委員名簿
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に準じた動物実験委員会が設置されている。</p> <p>委員会の構成については、基本指針より具体的・広範な専門領域にわたる優れた識見を有する学識経験者による構成となっている。</p>
<p>4) 改善の方針，達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合した動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢大学動物実験規程・金沢大学動物実験委員会規程・動物実験委員会申し合わせ事項等・動物実験計画申請・届出オンラインフォーム下書き用紙・動物実験計画書(様式2, 様式3A, 様式3B, 様式4)・動物実験実施報告書(様式11)・動物実験計画現況報告書(様式15)・オンラインフォーム入力上の注意事項・動物実験計画の申請及び実施結果の報告要領
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば, 明記する。)</p> <p>基本指針に準じた動物実験の実施体制が学内規程で定められている。</p> <p>審査体制については, オンライン化されており, 過半数の承認が得られたものについても, 指摘があった場合には, 申請者に具体的対応を確認する体制となっている。</p>
<p>4) 改善の方針, 達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験，感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合した安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが，一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は，行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢大学動物実験規程（第7条第4項，第12条第4項）・動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則・飼養保管施設ならびに施設外実験室の適正な管理・運用のための留意事項・金沢大学遺伝子組換え実験安全管理規程・金沢大学微生物等安全管理規程・金沢大学特定病原体等安全管理規程・金沢大学学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設 RI 動物実験要項・学際科学実験センター実験動物研究施設利用要項（マニュアル）・学際科学実験センター感染動物実験室（AF-013）利用マニュアル・金沢大学における化学物質の管理に関する細則
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば，明記する。）</p> <p>事故の有無を把握するための様式変更を行い，また防災マニュアルの整備も全ての飼養保管施設で整った。</p> <p>ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用について改善の余地がある。</p>
<p>4) 改善の方針，達成予定時期</p> <p>ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用について，特に安楽死処置における使用の制限・非爆発性麻酔薬への切替等の啓蒙活動として，ジエチルエーテルに代わる代替処置のマニュアルを作成し，HPにアップする予定である。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合した適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・ 金沢大学動物実験規程・ 動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則・ 飼養保管施設ならびに施設外実験室の適正な管理・運用のための留意事項・ 動物実験委員会申し合わせ事項等・ 飼養保管施設設置（申請・届出）書（様式 8）・ 飼養保管施設利用状況報告書（様式 9）・ 飼養保管施設外実験室設置申請書（様式 10）・ 記載事項変更・廃止届出書（様式 16）・ 飼養保管施設利用者教育訓練実施報告書（様式 17）・ 微生物モニタリング検体送付票（様式 18）・ 飼養保管施設及び施設外実験室の設置並びに利用状況の報告、記載事項の変更又は廃止に関わる様式等の記入要領・ 金沢大学における実験動物飼養保管施設・微生物モニタリング実施要領・ 飼養保管施設一覧・ 飼養保管施設設置申請書・ 飼養保管施設利用状況報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に準じた実験動物の飼養保管の体制が学内規程で定められている。</p> <p>15カ所の飼養保管施設が稼働しており、各施設には実験動物管理者が置かれている。</p> <p>各飼養保管施設に年2回の微生物モニタリングを義務化し、感染事故に対する一層の強化が図られた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、以上に掲げた事項以外に特筆すべき取り組みがあればその点検・評価結果とあわせて記入してください）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・金沢大学動物実験規程
- ・金沢大学動物実験委員会規程
- ・動物実験計画の審査・届出状況
- ・各動物実験計画書
- ・安全管理を要した動物実験の実施場所一覧
- ・各動物実験計画の申請に係る審査記録
- ・各動物実験計画の承認書
- ・各動物実験実施報告書
- ・各動物実験実施報告書の審査記録
- ・飼養保管施設・実験室の設置及び飼養保管施設の実験動物の導入、飼養状況
- ・各飼養保管施設の設置申請書、届出書（魚類・両生類）、マニュアル及び各飼養保管施設外実験室の設置申請書
- ・各飼養保管施設及び各飼養保管施設外実験室の設置申請に係る審査記録
- ・各飼養保管施設利用状況報告書の検証記録
- ・各飼養保管施設及び各飼養保管施設外実験室の設置の承認書
- ・各飼養保管施設利用状況報告書
- ・各飼養保管施設利用状況報告書の検証記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会は、学内規程に定められた業務を遂行している。

346 課題、380 計画の動物実験計画を審査した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告が実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し, 適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験計画の審査・届出状況・各動物実験計画書・安全管理を要した動物実験の実施場所一覧・各動物実験計画の申請に係る審査記録・各動物実験計画の承認書・各動物実験実施報告書・各動物実験実施報告書の審査記録・動物実験委員会議事概要
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。)</p> <p>動物実験計画の申請及び結果の報告について, 提出期限の明確化や部局長への督促体制の整備により, 体制の強化は図られているが, 一部期限を過ぎた書類提出が散見される。</p>
<p>4) 改善の方針, 達成予定時期</p> <p>提出期限超過後, 速やかに部局長への督促を行い, そのうえで提出がないものに対しては, 実験責任者の申請資格停止について通知することとする。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・安全管理を要した動物実験の実施場所一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>事故の有無を調査する体制は整い、事故報告はないが、ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用状況について、改善の余地がある。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>ジエチルエーテル等の爆発性吸入麻酔薬の使用について、特に安楽死処置における使用の制限・非爆発性麻酔薬への切替等の啓蒙活動としてマニュアルを作成し、実験責任者に配布する。実験責任者は次年度の動物実験計画書申請の際、マニュアルを参考にし、申請内容を検討することとする。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・各飼養保管施設の飼養保管施設利用状況報告書・各飼養保管施設の飼養保管施設利用者教育訓練実施報告書
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>各飼養保管施設において飼養保管手順書等が整備されている。</p> <p>各飼養保管施設の利用状況報告書に特に重大な事故の報告はない。</p> <p>微生物モニタリングが義務化され、適切に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針, 達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に, 改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し, 適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各飼養保管施設の飼養保管施設利用状況報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。) 各飼養保管施設の利用状況報告書に, 特に重大な支障となる対応不可能な問題の報告はない。
4) 改善の方針, 達成予定時期 該当なし

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者，動物実験実施者，飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し，適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが，一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢大学動物実験基礎講習の実施記録・金沢大学動物実験基礎講習資料・各飼養保管施設の飼養保管施設利用者教育訓練実施報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば，明記する。）</p> <p>全学的な教育訓練である金沢大学動物実験基礎講習が，宝町・角間両キャンパスで，年間を通して一定間隔で実施されている。</p> <p>また，各飼養保管施設においても教育訓練が行われており，教育訓練実施報告書が提出されている。</p> <p>なお，動物実験計画への参加は，教育訓練を前提に可能となるシステムが確立している。</p>
<p>4) 改善の方針，達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

7. 自己点検・評価, 情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価, 関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し, 適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・金沢大学における動物実験等に関する情報ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。) 基本指針に則した自己点検・評価を行い, ホームページ上で自己点検・評価, 関連事項の情報公開を実施している。
4) 改善の方針, 達成予定時期 該当なし

8. その他（動物実験の実施状況において、特筆すべき点検・評価事項及びその結果）

特になし